



～マイナス金利政策が解除されて初回となる今回のMPMについて、全回答者（138先）の99%が政策変更なしとの見方。3か月先の金利予想においては、無担保コールON金利について現状対比「不変」の見方が大幅に増加。一方、国債金利予想については2年・10年ともに「上昇」の見方が依然として回答者の半数以上(6割超)を占めた。

【調査の総括】

- 全回答者（138先）の99%が今回のMPMでの政策変更なしを想定。引締めを予想する先は前回から大幅に減少（63% → 1%）し、緩和を予想する先はなかった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、現状対比「不変」の見方が前回から大きく増加（7% → 76%）し、「上昇」の見方が減少（93% → 24%）した。「低下」を予想する先はなかった。
- 3か月先の国債金利予想では、「上昇」の見方が前回からは減少したものの、依然として全体の6割超を占めた（2年債：93% → 69%、10年債：87% → 68%）。一方、現状対比「不変」を想定する先が増加（2年債：6% → 30%、10年債：13% → 31%）した。「低下」を想定する先はわずかであった（2年債・10年債ともに全体の1%）。

【調査の概要】

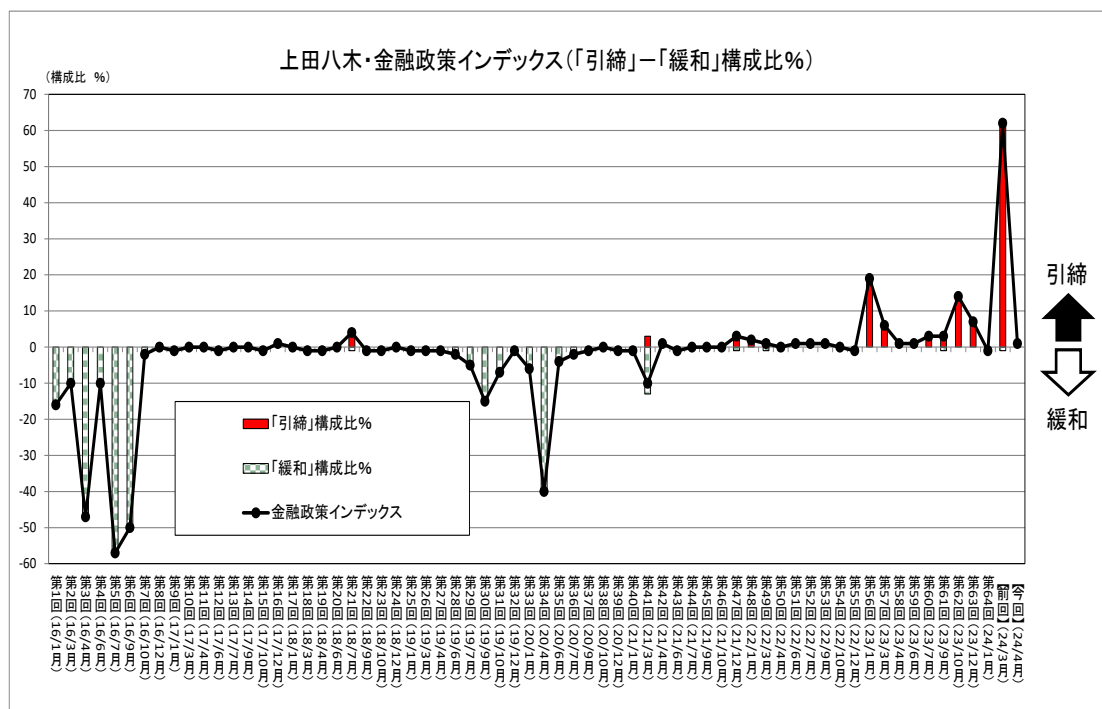
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（156先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2024年4月19日～23日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	88.5% （回答者数138先 < Q 1 における回答者数 >）

【調査の結果】

（Q 1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（4月25日～4月26日）における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。「緩和」の見方は0%。「引締め」は、1%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締め」－「緩和」構成比%）は、「1」（前は62）であった。



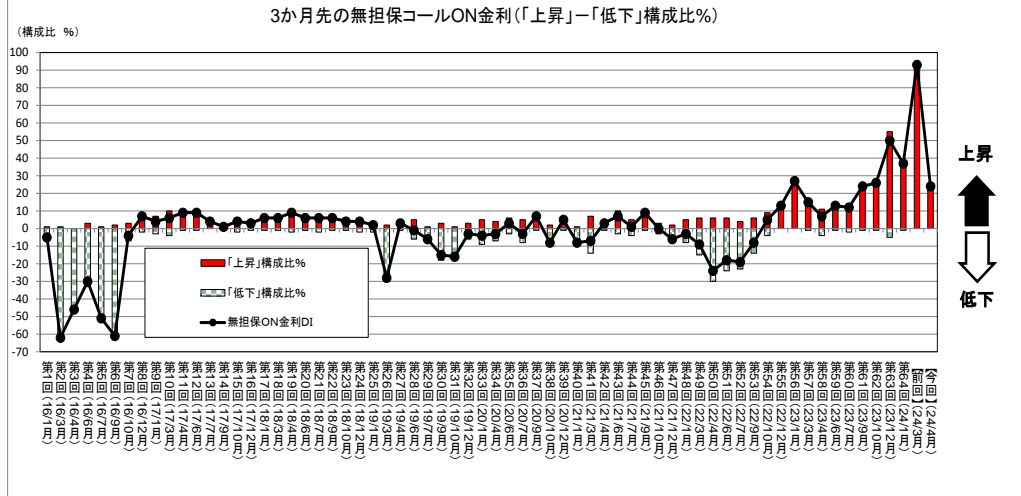
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の24%が「上昇」と予想、0%が「低下」を予想、「不変」とみている先は76%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲6.9%ポイント(前回9.3% → 今回2.4%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回0% → 今回0%)。

「不変」とみる先は+6.9%ポイント(前回7% → 今回7.6%)。



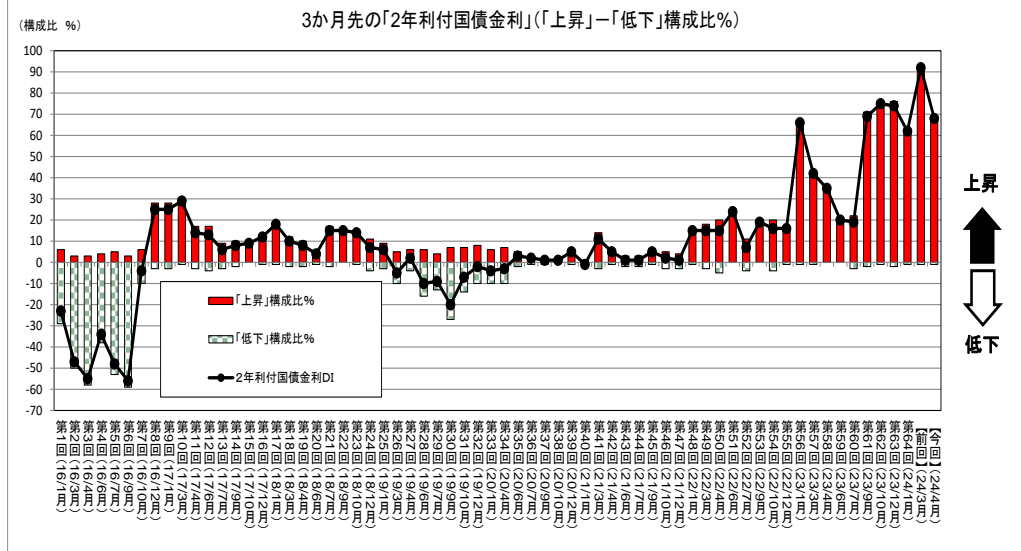
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の69%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は1%で、「不変」を予想した先は30%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲2.4%ポイント(前回9.3% → 今回6.9%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回1% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+2.4%ポイント(前回6% → 今回3.0%)。



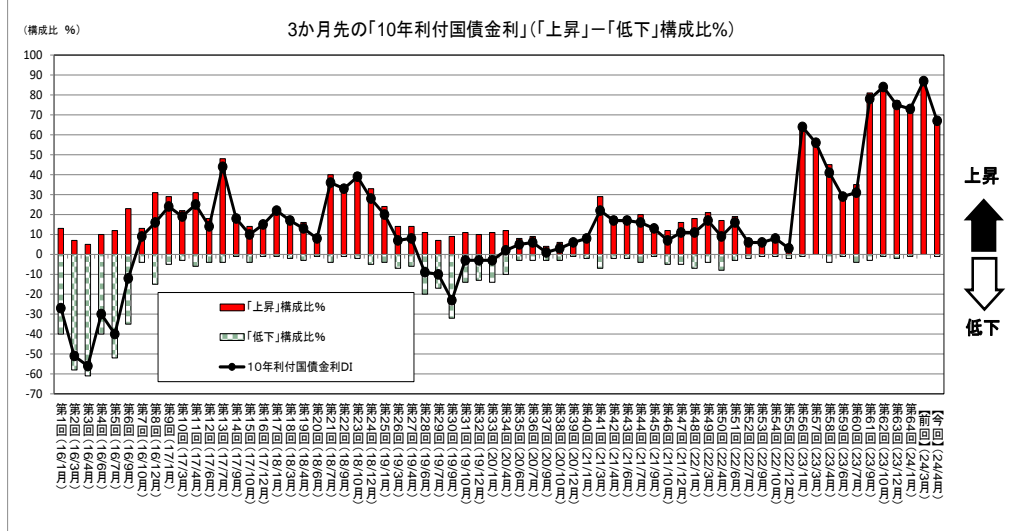
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の68%が「上昇」を予想、1%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は31%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1.9%ポイント(前回8.7% → 今回6.8%)。

「低下」とみる先は+1%ポイント(前回0% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+1.8%ポイント(前回1.3% → 今回3.1%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2024年4月19～23日
調査先	156先
回答率	88.5%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（4月25日～4月26日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回3月15日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	1	▲ 1
不変	99	36	+ 63
引締	1	63	▲ 62
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	1	62	▲ 61

（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月15日)	変化幅
低下	0	0	± 0
不変	76	7	+ 69
上昇	24	93	▲ 69
<hr/>			
短期金利予想DI	24	93	▲ 69

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月15日)	変化幅
低下	1	1	± 0
不変	30	6	+ 24
上昇	69	93	▲ 24
<hr/>			
2年国債金利予想DI	68	92	▲ 24

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月15日)	変化幅
低下	1	0	+ 1
不変	31	13	+ 18
上昇	68	87	▲ 19
<hr/>			
10年国債金利予想DI	67	87	▲ 20

【本調査に関する照会先】 企画部 島本、青木
(電話 03-3270-1475)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第243号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号 TEL：03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目4番2号 TEL：06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会